

ボランティアさん大募集～!!

こどもと遊ぶのが好きな方、事務局のお手伝いを一緒にして下さる方、お待ちしております。

よろしくお願ひ致します。

ｱﾄﾞﾙｽﾞ: power-of-children@ezweb. ne. jp



<後援会員 & 寄付 募集中です!>

この団体の活動は、みなさまの会費と寄付金で行っています。
ご理解とご協力をお願いいたします。

後援会員費 … ご入会頂くと「こどものちから通信」をお届けします。

◎個人 3,000 円/年 ◎団体(1口)10,000 円/年

ご 寄 付 … みなさまのあたたかいお気持ちは、きょうだいさんの笑顔を増やす活動に大切に活用させていただきます。

◎こどものちからの一年は、4月から翌年3月までです。(^_^)

郵便振替番号：00170-7-571697

□ 座 名：特定非営利活動法人こどものちから

お問い合わせは、住所：〒136-0073 東京都江東区北砂5-20-18-211

Tel：080-6867-6135 ｱﾄﾞﾙｽﾞ: power-of-children@ezweb. ne. jp

Facebook：https://www.facebook.com/kodomonotikara

「特定非営利活動法人こどものちから」事務局までお願ひ致します。

※独立した事務局がないためご連絡は、メールのみでお願ひしております。

<ご寄付>◎複数の個人の方々から頂きました。

いつもお心にかけていただきましてありがとうございます。

<小児待合室活動日>…きょうだい・病児・家族に遊んでもらっています。

毎週月曜日・木曜日、第2土曜日・第4日曜日 午前11時～午後2時

<協力団体>※カフェ・アリエッタ

<発行>「NPO 法人こどものちから」事務局

〒136-0073 東京都江東区北砂5-20-18-211

TEL：080-6867-6135

ｱﾄﾞﾙｽﾞ: power-of-children@ezweb. ne. jp

病院に連れて来られても病棟に入れないきょうだいさんに
遊んでもらう活動をしています。

こどものちから



<事務局・斉藤晴美 作>
NO. 10 2015. 12月発行

「こどものちから」お楽しみイベント 第9弾

「藤田浩子さんのおはなし会」

実施日時:6月21日(日)午後2時~4時

実施場所:築地社会教育会館

こどものちからの活動を知ってもらう為の周知活動や子どもとのより良い関わり方を学ぶ為に、語りを始めて60年以上になる藤田浩子さんから、昔語りや伝承遊び・わらべ歌など、やさしく・楽しく、あたたかく教えて頂きました。藤田さんのお話しが大好きな一般の参加者や関わり方を学びたいスタッフ・ボランティアを含め、総勢36名でした。この会で活動を知り、ボランティアを希望して下さる方が数名。大きな収穫でした。(^) 参加して下さった方からは、「とっても楽しかった」「お手玉遊びがたくさんあって、今後子ども達に伝えたい」「温かい雰囲気がとても良かった」など、活動への理解や素語りの良さが広がったようで、次回の開催を期待される声も多くありました。

※次回は、2016年6月19日(日)午後2時~4時です。場所などの詳細は、決まりしだい連絡いたします。

次回もたくさんの方々、もちろんお子さんのご参加もお待ちしております。



☆網膜芽細胞腫親の会「すくすく」勉強会 保育☆

実施日時:7月19日(日)午後12時~5時

実施場所:国立がんセンター中央病院管理棟 会議室

こどものちからとして活動を開始して丸2年。初めての患者会支援です。網膜芽細胞腫の親の会が、年一回開催する勉強会に、病児やきょうだいを預かりました。

未就学児7名、小学生4名を20名のスタッフ・ボランティアが対応。小学生を対象とした「遊びの部屋」では、「きょうだい支援を広める会さん」や大阪の「しぶたねさん」から学んだ「ワークショップ」を取り入れて、楽しく動きを伴うふれあい遊びを中心に行いました。未就学児は「おもちゃの部屋」を中心に、ボランティアがマン・ツー・マンで対応。参加した子ども達や関わった方々から「楽しかった」「また来たい」「学びがあった」「またやりたい」との感想があり、無事に実施できたことも含み、団体にとっては大きな収穫です。

チャンスがあれば今後も患者会支援保育を行いたいと思います。中でもソースせんべいに絵を描くおやつ作りは、大好評!!



<活 動 報 告>

- ◎小児待合室で、立ち寄ってくれたきょうだい・病児・家族に遊んでもらいました。
- ◎6月19日(金)通信9号発行
- ◎6月21日(日)築地社会教育会館にて「藤田浩子さんのおはなし会」開催
- ◎7月19日(日)網膜芽細胞腫親の会「すくすく」勉強会保育実施
- ◎7月25日(土)がんの子どもを守る会ミーティングルームにて
スタッフ・ボランティアミーティング開催
- ◎8月8日(土)キャサネット・ジャパン主催「秋葉ガソール2015」団体紹介ブース出展
- ◎8月27日(木)待合室にて「夏祭り」開催
- ◎9月20日(日)築地社会教育会館にて「内部研修(事例検討会)」実施
- ◎10月4日(日)お台場潮風公園バーベキュー広場にて「やきいも&BBQ」開催
- ◎10月20日(火)上智大学看護学部にて「病児と家族について」講演
- ◎10月25日(日)大阪にてきょうだい支援団体しぶたね主催
「きょうだいさんの日」見学
- ◎11月1日(日)きょうだい支援を広める会主催「きょうだい支援実践報告会」参加
- ◎11月3日(火)協働ステーション中央にて
「しぶたねさんからきょうだい支援を学ぼう」開催
- ◎11月7日(土)築地社会教育会館にて「第3回クリスマス工場(カード作り)」開催
- ◎11月15日(日)NPO 法人グッド・トイ委員会主催
「病児と遊びのおもちゃケア」にて活動報告
- ◎11月29日(日)築地社会教育会館にて「第4回クリスマス工場&たこパ」開催
- ◎12月1日(火)・2日(水)・4日(金)マニユライフ生命保険会社にて
「マニユライフ生命、第一回ギビング・チューズデイ・ウィーク」参加

<今 後 の 予 定>

- ◎12月18日(金)通信10号発行
- ◎12月24日(木)待合室にて「クリスマス会」開催
- ◎2月3日(火)神奈川県立こども医療センターにて「病児と家族について」講演
- ◎3月6日(日)大阪にてきょうだい支援団体しぶたね主催「きょうだいさんの日」見学
- ◎3月12日(土)病気のこども支援ネット遊びのボランティア主催「白熱教室」参加
- ◎6月19日(日)「藤田浩子さんのおはなし会」午後14:00～16:00
詳細は決定しだい連絡いたします。

◎小児待合室できょうだいさんや病児と遊んでもらいます。

毎週月曜日・木曜日、第2土曜日・第4日曜日 午前11時～午後2時

※2015年の活動…12月24日(木)まで。2015年の活動…1月7日(木)から。

<絵本紹介>

～『 ころろにすむおおかみ インディアンのティーチングストーリー 』～

じゃこめてい出版 2014.12

静岡県立こども病院医学図書室 塚田薫代

“あるひ、おじいさんが孫たちをあつめておはなしをしました。 よいかな、ひとのころろなかには にとうのおおかみがすんでいるのだ そのにとうのおおかみは わしのころろのなかでも つねに たたかいをくりひろげている”

インディアンの老人が、小さなこどもたちにふかくひびく声で語りかける場面が、とても印象的な物語です。

二頭のおおかみは、一見負と正、マイナスとプラスのようですね。でもどんな物事にも陰と陽はあるもの、一筋縄ではいかないものです。調和をはかり、己を律するものが、おおかみを手なずけることができるのかも知れません。老人の最後の答えが深くころろにしました。秋の夜長にどうぞ。



<小児待合室で人気のおもちゃ紹介>

「ワミー」

曲げたり間を通したりして様々なつなぎ方ができ、アイデア次第で多彩なカタチが作れる！

柔軟な思考力を育む新感覚のひらめきブロック。これはコクヨが知育玩具として販売されている物です。今年、待合室活動に賛同していただき、ご寄付頂いたのがこのワミー。形がとってもシンプルです。柔らかい素材で、凸と凹をつなぐだけ。なのにとっても不思議。つなぎ方次第で、ボールになったり、かごになったり。帽子やドレス・靴を作って身につけることも出来ます。遊園地やロケットも…。作品集を参考に作るのも良いけれど、作品を作らなくてもつけたり、外したりしているだけで、な～んとなく肩の力が抜けていく。年齢に関係なく大人気で、思いがけない素晴らしい作品が次々と生まれています。

待合室では、お子さんが1人である時に安心して楽しんで、大人と居る時にコミュニケーションがとれるおもちゃを心がけています。 井上るみ子





「こどものちから」お楽しみイベント 第10弾「やさいも&BBQ」

実施日時:10月4日(日)午前11時～午後2時30分

実施場所:お台場 潮風公園バーベキュー広場

やった～！！ ついに澄み渡る青空の下で、「やさいも&BBQ」を行うことができました。病児7名、きょうだいさん4名を含め、総勢48名が参加しました。「雨が降ったらどうしよう」と心配でしたが、今回は住友ゴム工業さまから助成頂くことで、晴天時用と雨天時用の会場を手配し、メインの美味しいお肉もたくさんの食材も遊び道具も、た～っぷり準備することができました。青い空・輝る海・広い公園…病院で出逢って、病院を離れて、久しぶりに会うお友だちの笑顔、どれをとっても最高でした。たくさんの方にご協力頂くことで得られた素晴らしい時間でした。無事に実施できたことに感謝いたします。



※参加して下さった方からの声

- ・海の見える景色の良いところでバーベキュー、初めてでした！ 最高のシチュエーションの元、子ども達ものびのびと遊べ、食べ、楽しんでいました。
- ・他の家族の方との交流も、病気を持つ親同士、すぐに打ち解けてお話しをすることができました。入院・治療が終わり、もう同じような境遇の方に会うことは難しいと思っていましたが、このようなイベントを企画して頂いたおかげで、また巡り会い、気持ちを話すことができてホッとしました。ありがとうございました。
- ・病院が変わってもこのようなイベントのおかげで、懐かしい人達(ボランティアさん)に会えてホッとしました。資金を助成してくれる企業の方にも感謝です。他多数ありました。

<しづたねさんから「きょうだい支援」について学ぼう！！>



実施日時:11月3日(火)午前10時30分～午後3時

実施場所:協働ステーション中央 会議室

☆午前の部:しづたね代表、清田悠代氏による講演

☆午後の部:しづたね「ダブルミーター」、眞利慎也氏による
ワークショップ

団体開始当初からの念願叶って、大阪で10年以上きょうだい支援をされているしづたねさんから、“子どもが命に関わる大きな病気になった時、そのきょうだいに起こってくる気持ちを知って支援の仕方を考えよう！”をテーマに、エピソードを交えながらの講演とプログラムのひとつずつを丁寧に説明して頂きながら、楽しくあたたかいワークショップを体験しました。参加総数 31 名、知っているようでちゃんと知らなかったきょうだいに起こりやすい気持ちを確認したり、今後の関わりに大きなヒントを得られたり、細部にわたる心遣いと温かな雰囲気の中でのワークショップが、心を解きほぐしてくれるのを感じたり、この勉強会をきっかけにボランティア活動を開始して下さる方も…本当に収穫多い時間でした。

しづたねさん、お忙しい中、大阪からありがとうございます。

助成して下さったオラクル有志の会さま、ありがとうございます。



<クリスマス工場&たこパ>



11月7日(土)・29日(日)築地社会教育会館にて、待合室で出逢ったお友だちにクリスマスカードを贈るために、きょうだいさんと一緒にカード作りをしました。

ハニカムシートで作ったクリスマスツリーや雪だるまが中心です。きれいに広がるように、みんな細心の注意をはらって丁寧に広げてくれました。小さな部品やカードケースも手に取ってくれるお友だちの笑顔を想像して、ワクワクしながら作りまし

た。29日(日)は「たこパ」もしました。たこやウィンナー・チーズ・コーン等々、たっぷり入ったたこ焼きやあんこやチョコ・焼きリンゴの入ったスイーツ焼き。たこ焼き初体験のお友だちもすぐ



に名人クラスに成長して、おしゃべりも

弾んだ、とっても楽しい時間となりました。

来年もやりたいと思いますので、お友だちが来てくれるのを待っています(´▽`)

助成して下さった住友ゴム工業さま、ありがとう

ございました。



< マニライフ生命で開催されたギビング・チューズデー・ウィーク >



12月1日(火)・2日(水)・4日(金)、マニライフ生命保険株式会社にて「マニライフ生命、第一回ギビング・チューズデー・ウィーク」に参加しました。

毎回ランチタイムの貴重な時間に、たくさんの社員の方々に、活動紹介をしながら、待合室で一番人気の牛乳パックのヘビさんを作っていました。

初日は、なんと社長さんも自らヘビさんを作ってくださいました。参加してくださった皆さんが、とっても楽しそうに個性豊かなヘビさんを作ってくださいたり、子ども達の現状を真摯に聴いてくださったり、居合わせた私たちにとっては貴重な学びの時間となりました。作っていただいた100個近くのヘビさん(マジンガーZやマニユビー、サンタさん、はらぺこあおむし等、ヘビさん以外もた〜くさんいます)は、待合室に来てくれるお友だちに渡したいと思います。きっとたくさんのお友だちの笑顔につながると信じています。

マニライフ生命のみなさま、つないでくださった東京ボランティア・市民活動センターのみなさま、本当にすてきな12月をありがとうございました。



マニライフ生命
ギャビン・ロビンソン社長兼 CEO

< 冬はマスクの出番 !? > ~看護師の立場からの提案~

インフルエンザや風邪の流行る時期になりました。店頭にも多くのマスクが並び、効果、効果について選択に悩んでしまいますね

感染管理を勉強する私達は、ウイルスがごく小さいものと習います。市販のマスクは、ウイルスそのものより大きいウイルス飛沫(ウイルスを含む唾液のシブキ)つまり、飛沫感染や接触感染を防ぐ事はできそうです。

何より大切な事は、マスクをフィットさせること。いくつかを試し、自分の顔に合うか、耳が痛くないか、息苦しくないか検証しましょう。

付け方一つで効果が90パーセント以上上がると言われるマスク

- ①鼻の形に合わせしっかりと山折り、谷折り
- ②プリーツを伸ばしアゴまで覆う
- ③外す時は、マスクの表面に触れない
- ④1日1回使い捨てを推奨

また、付けている事で粘膜の保温、保湿を高め、繊毛や免疫細胞がしっかり働いて、ウイルスを体の外へ排出します。効果的に使いこなして、元気に冬を乗り切りましょう(´_´)



奥山文香